

## 運用報告書 (全体版)

### D I A M毎月分配債券ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2010年9月3日から無期限です。	
運用方針	安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	D I A M毎月分配債券ファンド	D I A M内外債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	D I A M内外債券マザーファンド	国内公社債および海外の国債等のソブリン債を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンド受益証券の組入比率は、高位を維持することを基本とします。 国内公社債の実質組入比率は、原則として純資産総額の50%以上とします。 実質外貨建資産については、原則として為替フルヘッジを行います。 国内公社債と海外の国債等の実質組入比率は、各国の金利水準や経済ファンダメンタルズ等を勘案し決定します。	
組入制限	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

愛称：円パワース

第167期	<決算日	2024年7月23日>
第168期	<決算日	2024年8月23日>
第169期	<決算日	2024年9月24日>
第170期	<決算日	2024年10月23日>
第171期	<決算日	2024年11月25日>
第172期	<決算日	2024年12月23日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「D I A M毎月分配債券ファンド」は、2024年12月23日に第172期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

# DIAM毎月分配債券ファンド

## ■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入 比率	債券先物 比率	純資産 総額
		(分配落)	税金 込み	騰落 率			
第25作成期	143期(2022年7月25日)	円 8,579	円 3	% 0.4	% 95.9	% △18.1	百万円 1,175
	144期(2022年8月23日)	8,556	3	△0.2	96.0	△12.5	1,161
	145期(2022年9月26日)	8,453	3	△1.2	95.8	-	1,143
	146期(2022年10月24日)	8,382	3	△0.8	97.7	-	1,120
	147期(2022年11月24日)	8,417	3	0.5	94.8	△32.2	1,123
	148期(2022年12月23日)	8,367	3	△0.6	94.7	△10.9	1,109
第26作成期	149期(2023年1月23日)	8,392	3	0.3	96.6	-	1,087
	150期(2023年2月24日)	8,279	3	△1.3	96.8	-	1,065
	151期(2023年3月23日)	8,371	3	1.1	95.5	△11.2	1,072
	152期(2023年4月24日)	8,351	3	△0.2	97.2	△6.3	967
	153期(2023年5月23日)	8,355	3	0.1	97.9	-	968
	154期(2023年6月23日)	8,342	3	△0.1	97.5	△8.4	963
第27作成期	155期(2023年7月24日)	8,315	3	△0.3	97.0	-	954
	156期(2023年8月23日)	8,234	3	△0.9	97.6	-	942
	157期(2023年9月25日)	8,214	3	△0.2	97.0	-	932
	158期(2023年10月23日)	8,172	3	△0.5	96.3	△9.2	867
	159期(2023年11月24日)	8,218	3	0.6	95.7	-	854
	160期(2023年12月25日)	8,260	3	0.5	96.1	△24.4	851
第28作成期	161期(2024年1月23日)	8,260	3	0.0	97.4	-	846
	162期(2024年2月26日)	8,224	3	△0.4	94.7	-	835
	163期(2024年3月25日)	8,227	3	0.1	94.2	△14.3	819
	164期(2024年4月23日)	8,176	3	△0.6	95.0	△14.5	804
	165期(2024年5月23日)	8,161	3	△0.1	94.4	△28.1	791
	166期(2024年6月24日)	8,192	3	0.4	97.2	△17.8	792
第29作成期	167期(2024年7月23日)	8,181	3	△0.1	96.5	△21.0	787
	168期(2024年8月23日)	8,219	3	0.5	95.3	△14.9	789
	169期(2024年9月24日)	8,231	3	0.2	97.0	△15.0	784
	170期(2024年10月23日)	8,141	3	△1.1	99.1	△9.0	771
	171期(2024年11月25日)	8,089	3	△0.6	96.5	△22.3	760
	172期(2024年12月23日)	8,081	3	△0.1	96.5	△15.9	752

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

## ■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			騰	落		
第167期	(期首) 2024年6月24日	円 8,192		% -	% 97.2	% △17.8
	6 月 末	8,180		△0.1	97.3	△17.9
	(期末) 2024年7月23日	8,184		△0.1	96.5	△21.0
第168期	(期首) 2024年7月23日	8,181		-	96.5	△21.0
	7 月 末	8,175		△0.1	95.8	△20.6
	(期末) 2024年8月23日	8,222		0.5	95.3	△14.9
第169期	(期首) 2024年8月23日	8,219		-	95.3	△14.9
	8 月 末	8,219		0.0	95.0	△14.8
	(期末) 2024年9月24日	8,234		0.2	97.0	△15.0
第170期	(期首) 2024年9月24日	8,231		-	97.0	△15.0
	9 月 末	8,225		△0.1	96.8	△14.8
	(期末) 2024年10月23日	8,144		△1.1	99.1	△9.0
第171期	(期首) 2024年10月23日	8,141		-	99.1	△9.0
	10 月 末	8,133		△0.1	96.9	△20.5
	(期末) 2024年11月25日	8,092		△0.6	96.5	△22.3
第172期	(期首) 2024年11月25日	8,089		-	96.5	△22.3
	11 月 末	8,100		0.1	95.5	△22.1
	(期末) 2024年12月23日	8,084		△0.1	96.5	△15.9

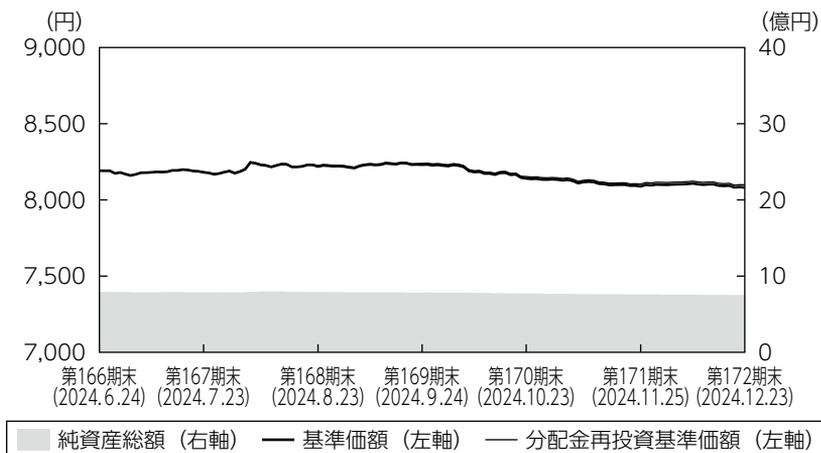
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

## ■第167期～第172期の運用経過（2024年6月25日から2024年12月23日まで）

### 基準価額等の推移



第167期首： 8,192円  
第172期末： 8,081円  
(既払分配金18円)  
騰落率：  $\Delta 1.1\%$   
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。日銀が2024年7月の金融政策決定会合で債券買入減額と利上げを決定し、追加利上げ期待を背景に日本国債利回りが上昇（価格は下落）したことや、米景気が底堅い推移を示し、利下げ期待の後退を受けて米国債利回りが上昇したことなど、保有債券の価格下落が基準価額の主なマイナス要因となりました。

## 投資環境

米国では、景気の底堅い推移、インフレ減速ペースの鈍化、2024年11月の米大統領選挙で勝利したトランプ氏の政策への期待などから、F R B（米連邦準備理事会）による利下げ期待が大きく押し戻され、国債利回りは上昇しました。日本では、日銀が7月の金融政策決定会合で債券買入減額と利上げを決定し、金融政策の正常化を進める姿勢を打ち出すと、金融市場では追加利上げ期待が強まったことから、国債利回りが上昇しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

D I A M内外債券マザーファンドの組入比率を作成期を通じて高位に維持するように運用しました。

### ●D I A M内外債券マザーファンド

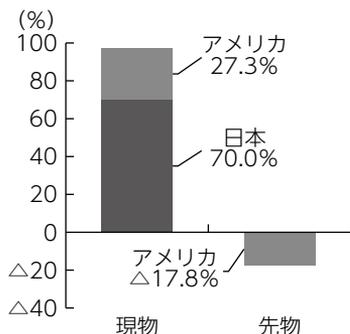
内外債の配分については、利回り上昇を予想する日本国債利回りが急低下した局面にて、円債ウェイトを引き下げましたが、2024年9月以降、米利下げ期待が後退する中、外債の為替ヘッジ後の利回り水準と潜在的なキャピタルゲインなどを総合的に勘案し、円債ウェイトを復元しました。外債の国配分については、米国債のみのポートフォリオを維持しました。デュレーション<sup>\*</sup>については、債券先物によるヘッジ取引を活用して機動的にコントロールしました。

<sup>\*</sup>金利変動に対する債券価格の変動性。

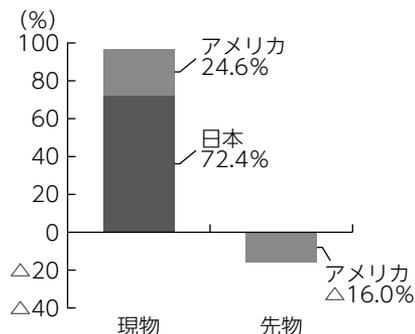
## 【D I A M内外債券マザーファンドの運用状況】

### ○国別構成比

#### 前作成期末



#### 当作成期末

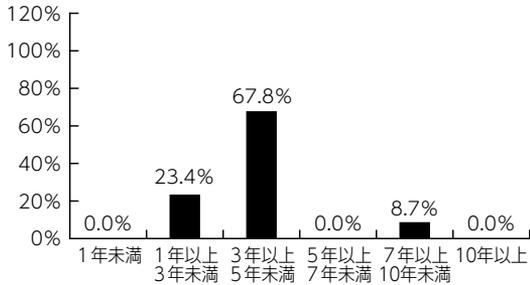


(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

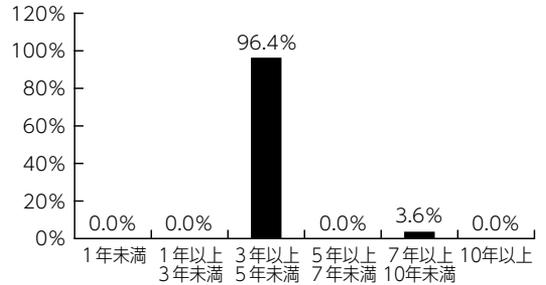
(注2) 発行国（地域）を表示しています。

(注3) 先物（売建）はマイナスで表示しています。

○国内公社債の残存年限別構成比  
前作成期末

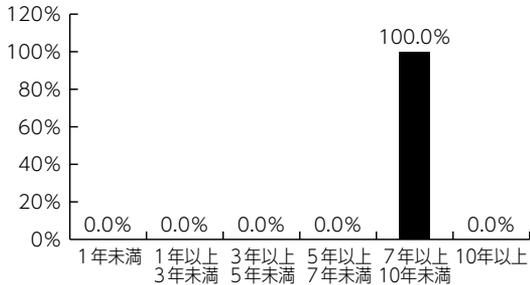


当作成期末

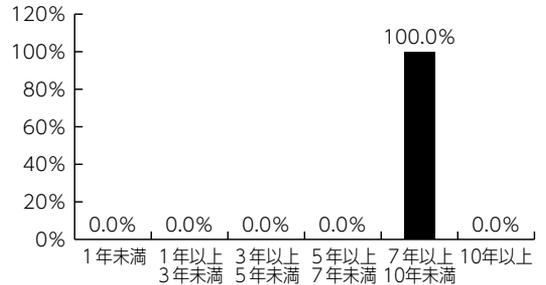


(注) 比率は国内公社債の評価額に対する割合です。

○海外の国債等の残存年限別構成比  
前作成期末



当作成期末



(注) 比率は海外の国債等の評価額に対する割合です。

## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期	第172期
	2024年6月25日 ~2024年7月23日	2024年7月24日 ~2024年8月23日	2024年8月24日 ~2024年9月24日	2024年9月25日 ~2024年10月23日	2024年10月24日 ~2024年11月25日	2024年11月26日 ~2024年12月23日
当期分配金（税引前）	3円	3円	3円	3円	3円	3円
対基準価額比率	0.04%	0.04%	0.04%	0.04%	0.04%	0.04%
当期の収益	3円	3円	3円	3円	3円	3円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	112円	118円	123円	125円	127円	128円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、D I A M内外債券マザーファンドを組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドで行います。今後もマザーファンドの組入比率を高位に維持します。

### ●D I A M内外債券マザーファンド

金融政策の方向性などによって国債利回りの相対的な魅力度は変動するため、各国の経済ファンダメンタルズ（基礎的条件）を注視しながら円債・外債のそれぞれの比率を変更していく方針です。また、債券先物によるヘッジ取引を活用することによって機動的に金利変動リスクをコントロールしていく方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第167期～第172期		項目の概要
	(2024年6月25日 ～2024年12月23日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	25円	0.306%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,171円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(10)	(0.126)	
(販売会社)	(13)	(0.164)	
(受託会社)	( 1)	(0.016)	
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(先物・オプション)	( 0)	(0.003)	
(c) その他費用	2	0.023	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	( 2)	(0.020)	
(監査費用)	( 0)	(0.001)	
(その他)	( 0)	(0.001)	
合計	27	0.332	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 信託報酬率(年率)は、毎年6月および12月の各計算期末において見直すこととし、各前月末における日本相互証券株式会社の発表する新発10年固定利付国債の利回り(終値)に応じて決定され、当該計算期末の翌日から適用するものとします。  
2024年5月31日の新発10年固定利付国債の利回り(終値)は1.070%であったため、信託報酬率は0.616%(税抜0.56%)を適用しています。

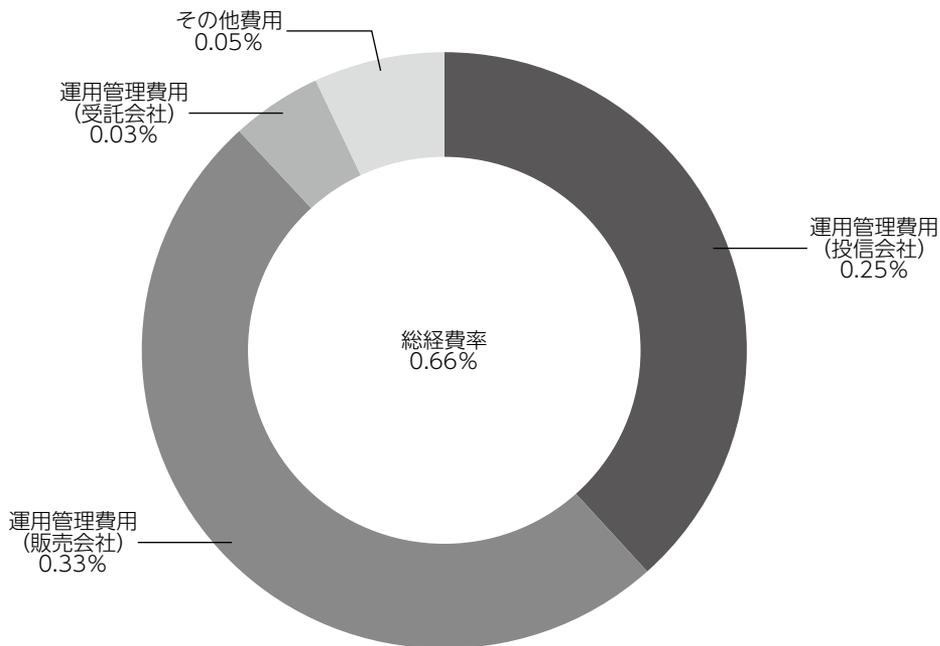
(注3) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.66%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2024年6月25日から2024年12月23日まで）

	第 167 期 ~ 第 172 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
D I A M内外債券マザーファンド	千□ -	千円 -	千□ 33,322	千円 37,000

## ■利害関係人との取引状況等（2024年6月25日から2024年12月23日まで）

### 【D I A M毎月分配債券ファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

### 【D I A M内外債券マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	第 167 期 ~ 第 172 期					
区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	うち利害関係人 との取引状況D	D/C		
公 社 債	百万円 440	百万円 128	% 29.1	百万円 475	百万円 -	% -

平均保有割合 100.0%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

## ■組入資産の明細

親投資信託残高

	第28作成期末	第 29 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
D I A M 内 外 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	千□ 712,180	千□ 678,858	千円 748,645

<補足情報>

■D I A M内外債券マザーファンドの組入資産の明細

下記は、D I A M内外債券マザーファンド（678,858,482口）の内容です。

(1) 公社債

A 債券種類別開示

(A) 国内（邦貨建）公社債

区 分	2024年12月23日現在						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 550,000	千円 541,763	% 72.4	% -	% 2.6	% 69.7	% -
合計	550,000	541,763	72.4	-	2.6	69.7	-

(注) 組入比率は、2024年12月23日現在のマザーファンド純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 外国（外貨建）公社債

区 分	2024年12月23日現在							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 1,240	千アメリカ・ドル 1,177	千円 184,479	% 24.6	% -	% 24.6	% -	% -
合計	-	-	千円 184,479	24.6	-	24.6	-	-

(注1) 邦貨換算金額は、2024年12月23日現在の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、2024年12月23日現在のマザーファンド純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

B 個別銘柄開示（邦貨建及び外貨建）

(A) 国内（邦貨建）公社債

銘柄	柄	2024年12月23日現在			
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
<b>(国債証券)</b>		%	千円	千円	
157回	利付国庫債券（5年）	0.2000	280,000	276,444	2028/03/20
159回	利付国庫債券（5年）	0.1000	250,000	245,602	2028/06/20
376回	利付国庫債券（10年）	0.9000	20,000	19,717	2034/09/20
合計		—	550,000	541,763	—

(B) 外国（外貨建）公社債

銘柄	柄	2024年12月23日現在					
		種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
<b>(アメリカ)</b>			%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
US T N/B	3.875 08/15/34	国債証券	3.8750	1,240	1,177	184,479	2034/08/15
合計		—	—	1,240	1,177	184,479	—

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	柄	別	2024年12月23日現在	
			買建額	売建額
外国	US 10YR NOTE FUT		百万円 —	百万円 119

(注) 外貨建の評価額は、2024年12月23日現在の時価を期末の仲値により、邦貨換算したものです。

## ■投資信託財産の構成

2024年12月23日現在

項 目	第 29 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
D I A M 内 外 債 券 マ ザ ー ファ ン ド	千円 748,645	% 99.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,300	0.6
投 資 信 託 財 産 総 額	752,945	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2024年12月23日現在、D I A M内外債券マザーファンドは204,892千円、27.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2024年12月23日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=156.72円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年7月23日)、(2024年8月23日)、(2024年9月24日)、(2024年10月23日)、(2024年11月25日)、(2024年12月23日)現在

項 目	第 167 期 末	第 168 期 末	第 169 期 末	第 170 期 末	第 171 期 末	第 172 期 末
(A) 資 産	<b>788,117,588円</b>	<b>790,669,901円</b>	<b>784,875,348円</b>	<b>772,577,884円</b>	<b>761,098,149円</b>	<b>752,945,613円</b>
コール・ローン等	3,541,530	4,718,515	3,102,943	2,677,592	2,333,896	4,300,480
D I A M 内 外 債 券 マザーファンド(評価額)	784,576,058	785,951,386	781,772,405	769,900,292	758,764,253	748,645,133
(B) 負 債	<b>679,464</b>	<b>706,826</b>	<b>715,378</b>	<b>688,743</b>	<b>721,837</b>	<b>639,428</b>
未払収益分配金	288,762	288,341	285,820	284,450	281,990	279,282
未払解約金	1,845	1,660	1,543	20,346	11,274	920
未払信託報酬	386,596	414,400	425,526	381,722	426,088	357,143
その他未払費用	2,261	2,425	2,489	2,225	2,485	2,083
(C) 純資産総額(A-B)	<b>787,438,124</b>	<b>789,963,075</b>	<b>784,159,970</b>	<b>771,889,141</b>	<b>760,376,312</b>	<b>752,306,185</b>
元 本	962,540,898	961,138,699	952,736,290	948,168,617	939,968,216	930,942,068
次期繰越損益金	△175,102,774	△171,175,624	△168,576,320	△176,279,476	△179,591,904	△178,635,883
(D) 受 益 権 総 口 数	<b>962,540,898□</b>	<b>961,138,699□</b>	<b>952,736,290□</b>	<b>948,168,617□</b>	<b>939,968,216□</b>	<b>930,942,068□</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>8,181円</b>	<b>8,219円</b>	<b>8,231円</b>	<b>8,141円</b>	<b>8,089円</b>	<b>8,081円</b>

(注) 第166期末における元本額は968,061,027円、当作成期間(第167期~第172期)中における追加設定元本額は15,847,144円、同解約元本額は52,966,103円です。

## ■損益の状況

〔自 2024年6月25日 至 2024年7月23日〕〔自 2024年7月24日 至 2024年8月23日〕〔自 2024年8月24日 至 2024年9月24日〕〔自 2024年9月25日 至 2024年10月23日〕〔自 2024年10月24日 至 2024年11月25日〕〔自 2024年11月26日 至 2024年12月23日〕

項 目	第 167 期	第 168 期	第 169 期	第 170 期	第 171 期	第 172 期
(A) 配 当 等 収 益	118円	982円	714円	454円	453円	477円
受 取 利 息	118	982	714	454	453	477
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△353,168	4,322,711	1,815,746	△7,842,114	△4,125,737	△131,124
売 買 益	19,438	4,375,342	1,827,035	28,971	9,335	16,653
売 買 損	△372,606	△52,631	△11,289	△7,871,085	△4,135,072	△147,777
(C) 信 託 報 酬 等	△388,857	△416,825	△428,015	△383,947	△428,573	△359,226
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△741,907	3,906,868	1,388,445	△8,225,607	△4,553,857	△489,873
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△123,286,263	△122,926,130	△118,181,689	△116,429,087	△123,761,732	△127,242,560
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△50,785,842	△51,868,021	△51,497,256	△51,340,332	△50,994,325	△50,624,168
(配当等相当額)	(8,811,460)	(8,820,429)	(8,752,020)	(8,712,722)	(8,640,316)	(8,560,880)
(売買損益相当額)	(△59,597,302)	(△60,688,450)	(△60,249,276)	(△60,053,054)	(△59,634,641)	(△59,185,048)
(G) 合 計 (D+E+F)	△174,814,012	△170,887,283	△168,290,500	△175,995,026	△179,309,914	△178,356,601
(H) 収 益 分 配 金	△288,762	△288,341	△285,820	△284,450	△281,990	△279,282
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△175,102,774	△171,175,624	△168,576,320	△176,279,476	△179,591,904	△178,635,883
追 加 信 託 差 損 益 金	△50,785,842	△51,868,021	△51,497,256	△51,340,332	△50,994,325	△50,624,168
(配当等相当額)	(8,814,025)	(8,827,439)	(8,752,436)	(8,713,183)	(8,640,718)	(8,561,339)
(売買損益相当額)	(△59,599,867)	(△60,695,460)	(△60,249,692)	(△60,053,515)	(△59,635,043)	(△59,185,507)
分 配 準 備 積 立 金	1,978,363	2,514,440	2,968,011	3,215,905	3,359,772	3,390,321
繰 越 損 益 金	△126,295,295	△121,822,043	△120,047,075	△128,155,049	△131,957,351	△131,402,036

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 167 期	第 168 期	第 169 期	第 170 期	第 171 期	第 172 期
(a) 経費控除後の配当等収益	508,152円	846,552円	763,123円	548,819円	456,161円	345,230円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	8,814,025	8,827,439	8,752,436	8,713,183	8,640,718	8,561,339
(d) 分 配 準 備 積 立 金	1,758,973	1,956,229	2,490,708	2,951,536	3,185,601	3,324,373
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	11,081,150	11,630,220	12,006,267	12,213,538	12,282,480	12,230,942
(f) 1万口当たり当期分配対象額	115.12	121.00	126.02	128.81	130.67	131.38
(g) 分 配 金	288,762	288,341	285,820	284,450	281,990	279,282
(h) 1万口当たり分配金	3	3	3	3	3	3

## ■分配金のお知らせ

決 算 期	第 167 期	第 168 期	第 169 期	第 170 期	第 171 期	第 172 期
1 万口当たり分配金	3円	3円	3円	3円	3円	3円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

# D I A M内外債券マザーファンド

## 運用報告書

第14期（決算日 2024年6月24日）

（計算期間 2023年6月24日～2024年6月24日）

D I A M内外債券マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2010年9月3日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	国内公社債および海外の国債等のソブリン債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
	期騰	落中率			
10期(2020年6月23日)	円 11,543	% 1.5	% 97.2	% △10.8	百万円 1,649
11期(2021年6月23日)	11,462	△0.7	98.2	△16.2	1,361
12期(2022年6月23日)	11,370	△0.8	97.6	△12.3	1,165
13期(2023年6月23日)	11,206	△1.4	98.2	△8.4	956
14期(2024年6月24日)	11,120	△0.8	97.3	△17.8	791

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

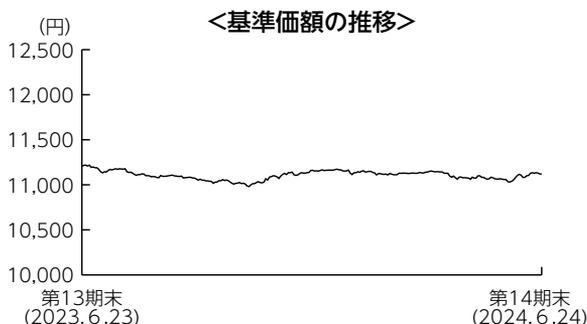
## ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債券組入比率	債券先物比率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2023年 6 月23日	円 11,206	% -	% -	% 98.2	% △8.4
6 月 末	11,193	△0.1		97.5	-
7 月 末	11,137	△0.6		97.5	-
8 月 末	11,103	△0.9		96.7	△8.7
9 月 末	11,044	△1.4		97.3	-
10 月 末	10,989	△1.9		96.0	△16.7
11 月 末	11,127	△0.7		96.4	△11.5
12 月 末	11,159	△0.4		96.9	△24.6
2024年 1 月 末	11,139	△0.6		96.8	△13.8
2 月 末	11,111	△0.8		94.5	-
3 月 末	11,149	△0.5		95.2	△26.9
4 月 末	11,085	△1.1		94.7	△14.8
5 月 末	11,039	△1.5		94.6	-
(期 末) 2024年 6 月24日	11,120	△0.8		97.3	△17.8

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

## ■当期の運用経過（2023年6月24日から2024年6月24日まで）



### 基準価額の推移

当期末の基準価額は11,120円となり、前期末比で0.8%下落しました。

### 基準価額の主な変動要因

日銀による段階的な金融政策の正常化、マイナス金利政策を解除する大規模金融緩和の修正などを背景に、日本国債利回りが上昇（価格は下落）したことが基準価額の主なマイナス要因となりました。

## 投資環境

米国では、政策金利の見通しを巡る金融市場の思惑により国債利回りは値幅を伴って上下しましたが、F R B（米連邦準備理事会）は労働市場と家計消費が想定以上の堅調さを見せたことから、2023年7月の利上げ以降、政策金利を据置きしました。日本では、日銀による段階的な金融政策の正常化、マイナス金利政策を解除する大規模金融緩和の修正などを背景に、日本国債利回りが上昇しました。

## ポートフォリオについて

内外債の配分については、円債と外債の利回り水準と潜在的なキャピタルゲインなどを総合的に勘案し、投資比率を機動的に変更しました。外債の国配分については、米国債のみのポートフォリオを維持しました。デュレーション<sup>※</sup>については、債券先物によるヘッジ取引を活用して機動的にコントロールしました。

※金利変動に対する債券価格の変動性。

## 今後の運用方針

世界各国の金融政策の方向性などによって国債利回りの相対的な魅力度は変動するため、各国の経済ファンダメンタルズ（基礎的条件）を注視しながら円債・外債のそれぞれの比率を変更していく方針です。また、債券先物によるヘッジ取引を活用することによって機動的に金利変動リスクをコントロールしていく方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	2円 (2)	0.016% (0.016)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	5 (5) (0)	0.043 (0.042) (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	7	0.059	
期中の平均基準価額は11,107円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■ 売買及び取引の状況 (2023年6月24日から2024年6月24日まで)

### (1) 公社債

			買 付 額	売 付 額
			千円	千円
国	内	国 債 証 券	1,864,024	1,962,923 (-)
外			千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
国	ア	メ	リ	カ
			国 債 証 券	2,069 (-)
			1,539	

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

### (2) 先物取引の種類別取引状況

種 類 別	買		建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	百万円	百万円	百万円	百万円
債券先物取引	-	-	3,062	3,006

(注) 金額は受渡代金です。

## ■利害関係人との取引状況等（2023年6月24日から2024年6月24日まで）

期中の利害関係人との取引状況

区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 2,088	百万円 -	% -	百万円 2,255	百万円 575	% 25.5

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

## ■組入資産の明細

(1) 公社債

A 債券種類別開示

(A) 国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国 債 証 券	千円 560,000	千円 554,635	% 70.0	% -	% 6.1	% 47.5	% 16.4
合 計	560,000	554,635	70.0	-	6.1	47.5	16.4

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 外国（外貨建）公社債

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 1,360	千アメリカ・ドル 1,350	千円 215,862	% 27.3	% -	% 27.3	% -	% -
合 計	-	-	千円 215,862	27.3	-	27.3	-	-

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

B 個別銘柄開示（邦貨建及び外貨建）

(A) 国内（邦貨建）公社債

銘柄	柄	当 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>(国債証券)</b>		%	千円	千円	
460回	利付国庫債券（2年）	0.3000	130,000	130,035	2026/05/01
157回	利付国庫債券（5年）	0.2000	240,000	238,058	2028/03/20
159回	利付国庫債券（5年）	0.1000	140,000	138,107	2028/06/20
373回	利付国庫債券（10年）	0.6000	50,000	48,434	2033/12/20
合	計	—	560,000	554,635	—

(B) 外国（外貨建）公社債

銘柄	柄	当 期				末
		種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>(アメリカ)</b>			%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル 千円	
US T N/B 4.375 05/15/34	国債証券	4.3750	120	121	19,372	2034/05/15
US T N/B 4.125 11/15/32	国債証券	4.1250	1,240	1,228	196,489	2032/11/15
合	計	—	1,360	1,350	215,862	—

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	柄	別	当 期		末
			買 建 額	売 建 額	額
外国	US 10YR NOTE FUT		百万円 —		百万円 141

(注) 外貨建の評価額は、期末の時価を期末の仲値により、邦貨換算したものです。

## ■投資信託財産の構成

2024年6月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	770,497	94.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	48,124	5.9
投 資 信 託 財 産 総 額	818,622	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、232,483千円、28.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2024年6月24日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=159.88円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年6月24日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,046,770,763円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	30,672,570
公 社 債(評価額)	770,497,555
未 収 入 金	228,148,275
未 収 利 息	978,030
前 払 費 用	106,848
差 入 委 託 証 拠 金	16,367,485
(B) 負 債	254,839,118
未 払 金	254,839,118
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	791,931,645
元 本	712,180,741
次 期 繰 越 損 益 金	79,750,904
(D) 受 益 権 総 口 数	712,180,741口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,120円

(注1) 期首元本額 853,897,604円  
追加設定元本額 0円  
一部解約元本額 141,716,863円

(注2) 期末における元本の内訳  
D I A M毎月分配債券ファンド 712,180,741円  
期末元本合計 712,180,741円

## ■損益の状況

当期 自2023年6月24日 至2024年6月24日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	9,269,931円
受 取 利 息	8,203,362
そ の 他 収 益 金	1,068,593
支 払 利 息	△2,024
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△28,938,873
売 買 益	43,753,101
売 買 損	△72,691,974
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	12,119,531
取 引 益	20,346,617
取 引 損	△8,227,086
(D) そ の 他 費 用	△367,292
(E) 当 期 損 益 金(A+B+C+D)	△7,916,703
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	102,950,744
(G) 解 約 差 損 益 金	△15,283,137
(H) 合 計(E+F+G)	79,750,904
次 期 繰 越 損 益 金(H)	79,750,904

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。